

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでしたが、すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。

へブル人への手紙 4章 15節

私たちは人生を歩むとき、頑張っても報われないという事があります。エリヤもまさに報われない経験をした人物です。

その経験をしたエリヤは人と自分を比べ、自暴自棄になります。しかし神様はパンと水を備えて下さり休息を与えます。エリヤは大きな奉仕を成し遂げた後だったので、肉体的にも疲れしていました。神様はエリヤに一番必要なものを与えて下さったのです。神様は私たちの必要を私たち以上に知っていてくださり、神様の方法で必要を満たしてください。

また神様はエリヤに問います。「エリヤよ、

ここで何をしているのか」(9, 14節)。

神様はエリヤが答えなくてもここにいる理由、またここで何をしているのかご存じです。それなのに問われました。神様は自分の現状と気持ちを神様の前で整理することを求めているのです。それは自分の理解を深めるということです。この問いに対するエリヤの答えは「なぜ自分はこの目に遭うのですか神様!」という素直な答えでした。私たちは自分の気持ちを理解し、その気持ちを素直に祈ることが出来ます。神様はその祈りを否定せず、受け取って下さいます。

そして最後に神様はエリヤに慰めと、新しい使命を与えます。一人だと嘆いていたエリヤに七千人の仲間がいると語り、後継者を用意していると語ります。一人で努力し、何もかもしなくてはならないと思っていたエリヤにとってこの言葉は慰めでした。その慰めを得てエリヤは神様からの新しい使命を受け取り踏み出します。

私たちも報われない状況、困難な状況に直面します。しかし慰めを与えて下さる神様はどこか高いところからではなく、私たちに寄り添い慰めて下さるお方です。そのことを表しているのがまさにイエス様の受肉と十字架です。その寄り添ってくださる神様から慰めをいただきたい。私たちがエリヤの様に新しい一步を踏み出しましょう。(林)

■ 召天者記念礼拝・墓地礼拝について

* 召天者記念礼拝

7月4日(日)

第一礼拝 9時～10時

第二礼拝 11時～12時

・定員を設けての事前予約制です。

・インターネットに対応できる方は、そちらをご利用ください。関わる方々を優先したいと思います。

・墓地礼拝 今年も中止です。

ただし、7月4日(日)午後2時半より教会墓地の納骨堂を開放。堂内に入ることが可能です。ご希望の方は、各自で現地へお出かけください。申し込みは不要。

・納骨式

7月4日(日) 午後2時より多磨墓地に
で行います。

【報告 消息】

・竿代信和牧師 召天

(インマヌエル綜合伝道団)

長く名古屋にて牧会し、第42回霊修会(2002年)で講師にお迎えするなど交わりをいただきました。聖宣神学院で教鞭を執られ、多くのシオンの教職者をご指導をいただきました。

コロナ禍で葬儀もオンライン配信でしたが、荻野牧師が参列。教団からは石田理事長名で弔電を送りました。

娘夫婦の田辺牧師夫妻が、現在、林修養生が在学している聖宣神学院で寮監を務めておられます。

・第63回シオン霊修会

日程 9/19(日) 午後5時20分(月) 午前

会場 プラザヴェルデコンベンション沼津

講師 岩上敬人師(JEA総主事、インマ

ヌエル綜合伝道団)

テーマ「キリストのことばを豊かに」

コロナ禍にあっても主にある交わりを絶やさずにいたいと願い計画しています。

会場はデイスタンスを十分にとれる大きなホール。宿泊は基本が個室で感染対策を致します。もちろん、ネット参加も可能です

(有料)。詳細は近日お知らせします。